

エレスポに協調融資

東濃信金
日本公庫 eスポーツ普及、各200万円

東濃信用金庫と日本政策金融公庫は24日までに、「一般社団法人地域Eスポーツ教育推進協会Elespo(エレスポ)」(多治見市、山崎譲史代表理事)に対し、各200万円の協調融資を行った。

東濃信用金庫は創業から成長期の資金調達を支援す

る「たじみ活性化プラン」を初めて適用した。日本公庫は「女性、若者／シニア起業家資金」を適用した。Elespoは昨年8月に多治見市に移住、中京高校(瑞浪市)のeスポーツ部を指導する山崎氏が、eスポーツ普及のため創業。地域密着型のeスポーツイベントの企画、運営を行う。たじみ活性化プランは多治見信用金庫と十六銀行が多治見商工会議所、笠原町商工会と連携して開発した。「たじみビジネスプランコンテスト」への申し込み実績か同商議所か同商工会の経営支援員の伴走支援が条件。